

「型技術ワークショップ 2026 in とやま」
開催案内及びポスター送付について

一般社団法人型技術協会

拝 啓

貴会ますますご隆盛の段、大慶に存じます。

さて、この度は「型技術ワークショップ 2026 in とやま」に協賛団体としてご協力を
いただき誠に有難うございます。別紙のように開催プログラムが出来上がりましたので、
お送り致します。

貴会員がお申込みされる場合は、会員価格にて参加いただけます。よろしくご周知
下さいます様、お願い申し上げます。

敬 具

型技術ワークショップ 2026inとやま

～サーキュラーエコノミー時代の型技術

開催日：2026年11月26日(木)・27日(金)

会場：富山国際会議場

〒930-0084 富山県富山市大手町1番2号

第1日目

11月26日(木) 講演会、展示会、懇親会

オープニング講演1「医療目線から見たものづくりの未来」

国立大学法人富山大学 学長 齋藤 滋氏

オープニング講演2「産業の礎に～インゴットケースに込めた設計思想～」

虹技株式会社 素形材事業部 品質管理部 技術G サブリーダー 長谷川 智則氏

特別講演1「善の巡環に始まり、世界への飛躍とこれからについて」

YKK AP 株式会社 住宅・エクステリア統括本部 技術アドバイザー(農学博士) 八木 繁和氏

特別講演2「都市政策と交通政策の融合による地域活性化に関する実践的研究」

富山市前市長・富山大学客員教授 博士(都市社会工学) 森 雅志氏

特別セッション アルミニウムリサイクルの最前線

「アルミニウムの資源循環 ～富山における循環経済型イノベーション都市の創出～」

富山大学 学術研究部 都市デザイン学系 特別研究教授 柴柳 敏哉氏

「抽出・相分離によるアルミニウムのアップグレードリサイクル」

富山大学 都市デザイン学部 材料デザイン工学科 講師 加藤 謙吾氏

「アルミニウム切削チップの押出し加工によるダイレクトリサイクル工法の開発」

富山大学 学術研究部 工学系 助教 船塚 達也氏

一般講演 37件

第2日目

11月27日(金) 工場見学会

Aコース：YKK(株) → YKK AP(株)

Bコース：富山大学 先進アルミニウム国際研究センター → アイシン軽金属(株) → (株)能作

Cコース：三協立山(株) → 富山大学 先進アルミニウム国際研究センター

→ (株)HARITA → (株)フジタ

Dコース：日本高周波鋼業(株) → (株)能作 → 富山大学 先進アルミニウム国際研究センター

開催にあたって：この度、皆様の多大なるご協力を賜り、ここ富山県富山市にて第32回目の「型技術ワークショップ 2026 in とやま」が開催されることになりました。日頃、型技術の分野で活躍しておられる皆様にご参集いただけますことは実行委員一同の喜びであり、心から歓迎申し上げます。

富山県は背後に立山連峰を抱き、日本海に面した自然豊かな地域です。古くは配置薬の薬売りに始まり、豊かな水資源が米作りから電源開発に進み、アルミニウムの加工産業が栄える地域となってきました。春のほたるいか、冬の寒ブリ、これに合わせる日本酒など、「天然のいけす」と呼ばれる富山湾の鮮度抜群の地魚と、豊かな水で育ったお米を使った寿司は絶品で、2024年には寿司の消費額で全国トップレベルに躍り出るなど、「寿司といえば、富山」と言われる地域です。講演会場となる富山国際会議場は富山駅から市内電車やバスで7分ほどと移動が容易で、歴史的な富山城の眼前に立地しております。

素形材産業を取り巻く環境変化は早く激しく、型技術においても例外ではありません。この地域で型技術ワークショップが開催されますことは、ものづくりに携わる技術者にとって大いに意義深いものであります。

第1日目はオープニング講演と特別講演を含む講演会を開催し、機器製品展示会も行います。第2日目には各社のご協力を得て工場見学会を実施いたします。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

「型技術ワークショップ2026 in とやま」実行委員長 白鳥 智美

==== 型技術ワークショップ2026 in とやま プログラム ====

※一般講演：37件（先頭が講演者20分/件、講演15分+質疑5分）※展示会：2階ホワイエ

9:20	受付開始（2F ホワイエ）							
9:50	司会：高野 登（富山大学）（メインホール 3F） 実行委員長あいさつ：白鳥 智美（富山大学）、副会長あいさつ：松村 隆（東京電機大学） 司会：白鳥 智美（富山大学） オープニング講演 1 「医療目線から見たものづくりの未来」 国立大学法人富山大学 学長 齋藤 滋氏 オープニング講演 2 「産業の礎に～インゴットケースに込めた設計思想～」 虹技株式会社 素形材事業部 品質管理部 技術G サブリーダー 長谷川 智則氏							
11:00								
11:10	講演室 A	201 号室（2F）	講演室 B	202 号室（2F）	講演室 C	203 号室（2F）	講演室 D	204 号室（2F）
	プレス 座長：舟見 豊（㈱南雲製作所）		ダイカスト 座長：高瀬 和紀（㈱福光工業）		品質・生産管理 座長：黒川 政人（日本高周波鋼業㈱）		技能伝承 座長：山根 功司（アイシン・メタルテック㈱）	
	A-1 アルミプレスパネルせん断工程起因の表面不具合に対する対策の検討 小川泰知、佐田和美、阿部聡(日産自動車㈱) A-2 CAE 解析を活用した超高張力鋼板用プレス金型の強度保証プロセスの構築 大屋登志行、奥村聡志、野口マリ(マツダ㈱) A-3 CAE を活用した板金部品の初期精度向上の取り組み 赤池勇樹(スズキ㈱) A-4 金型の長寿命化に寄与するワイヤ放電加工面性状に関する研究 出口新(㈱牧野プライス製作所)		B-1 ダイカスト金型構造部品の循環活用に向けた損傷評価および適用判断基準構築の取り組み 福永健一(本田技研工業㈱) B-2 データ駆動型自動探索法によるアルミダイカスト金型-溶湯間の熱伝達係数の推定 清水啓喜、大坪龍之介(岐阜大学大学院)、新川真人、山下実(岐阜大学) B-3 熱マネジメントによる省エネルギー型技術 ～ベリリウム銅を活用したサーキュラーエコノミーへの貢献～ 高原弘生(NGK ファインモールド㈱)		C-1 3DA 適用における品質帳票作成プロセスの最適化 原翔平、酒井祐充、下山昂晃、伊藤秀敏(マツダ㈱) C-2 BOM/BOP 基準によるものづくり見える化システムの開発 荒井善之、内田幸雄(㈱モノコミュニティ) C-3 ワンチャック加工による段取りレス化、加工不良削減の取り組み 近藤智浩(Roeders GmbH)		D-1 金型仕上げ研磨時における技能伝承効率化ツールの開発 第2報 松澤正明((同)KAGAMI)、小松隆史、水野綾介(㈱小松精機工作所)、長洲慶典(長野県工業技術総合センター) D-2 デジタル動作解析による金型仕上げにおける溶接技能のメカニズム解明 白川真也、音丸拓海、中西康夫、久保祐貴(マツダ㈱) D-3 瞬間吸引金型の製作で大幅な原価低減を実現 脇山高志(㈱プラモール精工)	
	※終了 12:30							
12:30								
13:30	積層造形 座長：米谷 強（㈱アイ・エス・テクノロジー）		機械加工① 座長：加門 真一（三協立山㈱）		デジタル技術① 座長：荒井 善之（㈱モノコミュニティ）		材料・表面処理 座長：大井 捷平（シロウマサイエンス㈱）	
	A-5 積層造形ステンレス鋼の側面エンドミル加工における造形面凹凸が仕上げ面性状に及ぼす影響 臼井弘斗、田村昌一、松村隆(東京電機大学)、高山翼(㈱ソディック) A-6 金属 AM で得られた射出成形金型の漏水抑制に向けた空隙発生挙動の解析 上田悠人、櫻井和哉、阿部諭、古本達明(金沢大学) A-7 金型補修に対するデジタル技術と金属積層を組み合わせた取り組み 近藤裕一(Hexagon Manufacturing Intelligence㈱)		B-4 乾式切削加工に対応したコーティング工具の検討 川畠丈志(㈱オンワード技研) B-5 4 枚刃 CBN ボールエンドミルによる高硬度金型材加工の長寿命・高精度・高効率化 清水和也、渡邊昌英(ユニオンツール㈱) B-6 工具形状設計と成形に対する切削シミュレーションの応用 松村隆(東京電機大学)、大倉透(ユナイテッド グライディング㈱)		C-4 金型加工用 CAM の高度化に向けた Signed Distance Field 技術による形状シミュレーション 西田勇(神戸大学)、平山京幸、山田瑛貴(アルム㈱) C-5 マシニングセンタの主軸負荷の見える化による金型加工条件の最適化 山本実加子、高橋亮、佐藤武志、井上俊介(日産自動車㈱) C-6 工具摩耗の均一化を目的とした姿勢制御による5軸制御ボールエンドミル加工経路生成 坂井俊斗、内野源太、森重功一(電気通信大学大学院)、岡本謙(長野工業高等専門学校)		D-4 ELV 規制におけるリサイクル樹脂及びバイオマス材料の適用技術開発 西野彰馬(パナソニックホールディングス㈱) D-5 高精度真空ガス冷却熱処理による冷間金型鋼の表面品質向上技術の開発 田中裕介、横尾臣則(㈱松徳) D-6 チェアスキー用 CFRP 部品開発への挑戦 ～設計から成形・評価までの実践事例～ 小山茜、城所英昭(トヨタ自動車㈱)	
	休憩（14:30～14:40）							
14:40	高精度・高度化計測 座長：伊井 晴明（YKK㈱）		機械加工② 座長：岡田 将人（福井大学）		デジタル技術② 座長：石川 幹人（㈱リバン・イシカワ）		メインホール（3F） 特別セッション アルミニウムリサイクルの最前線 司会：荒城 昌弘（YKK AP㈱）	
	A-8 「金型は何を語るのか？」 冷間鍛造におけるセンシング技術の量産適用 八木哲司、上野完治、安田豊、金秀英(㈱ヤマナカゴーキン) A-9 モータ巻線の三次元構造を考慮した有効熱伝導率の評価に関する研究 齋藤卓志、浅田和哉、住谷明(東京科学大学)、山中真先、南浦明(コマツ) A-10 白色干渉技術を用いた非接触三次元計測の紹介 ―装置組込可能な高精度非接触三次元センサ WLI-Unit― 穴戸裕子、長濱龍也、本橋研(㈱ミツトヨ)、高谷裕浩(大阪大学) A-11 金型補正における幾何偏差解析のための可視化技術 相川正樹、平岩尚樹、一之木量雄、小林祐大(㈱デンソー)		B-7 コスト削減につながる小径工具の選定と工程組み 林本章央(日進工具㈱) B-8 超硬工具価格高騰時代における工具コスト削減の新たなアプローチ 首藤計介(㈱ソディック) B-9 高品位金型加工のためのエンドミル切削における切れ刃の動的挙動に関する研究 安田龍平、鈴木康生、田村昌一、松村隆(東京電機大学) B-10 最新ワイヤ放電加工技術 MG シリーズ・EDM-Dress による製造現場の課題解決 宮東将史(三菱電機㈱)		C-7 2D 図面 dxf データの寸法及び公差情報を 3D モデルデータに植え付ける技術のご紹介 松澤和貴、山根雅則(㈱アルモニコス) C-8 射出成形金型内センサデータと AI を用いた樹脂粘度モデルの開発 鴨下朋留、村田泰彦(日本工業大学)、内山祐介、阿部健四郎(㈱MAZIN) C-9 加工診断 AI による自律型工作機械の実現 安藤知治(オークマ㈱) C-10 製造業における技術データ資産化と AI×CAE を活用した成形性検討の高度化 高橋博史(UEL㈱)		★14:40～15:00（質疑応答 5 分含） 「アルミニウムの資源循環 ～富山における循環経済型イノベーション都市の創出～」 富山大学 学術研究部 都市デザイン学系 特別研究教授 柴柳 敏哉氏 ★15:00～15:20（質疑応答 5 分含） 「抽出・相分離によるアルミニウムのアップグレードリサイクル」 富山大学 都市デザイン学部 材料デザイン工学科 講師 加藤 謙吾氏 ★15:20～15:40（質疑応答 5 分含） 「アルミニウム切削チップの押出し加工によるダイレクトリサイクル工法の開発」 富山大学 学術研究部 工学系 助教 船塚 達也氏 ※終了 15:40	
	16:00							
	16:10							
	18:15							
18:45								
20:30								

司会：白鳥 智美（富山大学）（メインホール 3F）
特別講演 1 「善の巡環に始まり、世界への飛躍とこれからについて」 YKK AP 株式会社 住宅・エクステリア統括本部 技術アドバイザー(農学博士) 八木 繁和氏
特別講演 2 「都市政策と交通政策の融合による地域活性化に関する実践的研究」 富山市前市長・富山大学客員教授 博士(都市社会工学) 森 雅志氏

司会：船塚 達也（富山大学）
懇親会「ホテルグランテラス富山」（4F）

参加申込について

1. 申込方法 ホームページよりオンライン申込(<https://www.jsdmt.jp/>)

2. オンライン申込締切 **11月5日(木)**

※工場見学会のみ 10月25日(日)〆切となります。

※申込内容にかかわらず、オンライン申込締切日後のキャンセルはできません。お申し込みの費用をお支払いいただきます。

※参加証や請求書の送付は、申込締切(11/5)後の発送となります。

※銀行振込・郵便振替の場合は原則として領収書を発行いたしません。

3. 参加費 ※金額はすべて消費税込み

(1)講演会参加費(展示コーナー見学会)

会員 13,000 円、一般 26,000 円、学生 無料(学生の論文集希望者 2,000 円)

(2)懇親会参加費 8,000 円(会員、一般とも)

※懇親会は『ホテルグランテラス富山』での開催となります

(3)工場見学会参加費 8,000 円(会員、一般とも)

※工場見学会の申込は、26日の講演会申込者および講演者に限らせていただきます。

※工場見学会の申込締切後の参加者変更は出来ません。

(4)11/26 昼食弁当(希望者のみ) 1,600 円(お茶付)

※国際会議場への飲食物等の持ち込みは出来ません。

- <注 記> 1. 会員の対象は型技術協会会員または協賛団体会員です。
2. 工場見学会についての詳細は別紙を参照ください。
2-1 同業者の方はお断りさせて頂く場合があります。
2-2 各コースとも午前・午後通しての申込みとなります。

4. 主 催 **一般社団法人型技術協会**

5. 協 賛 SPE 日本支部、自動車技術会、精密工学会、全日本プラスチック製品工業連合会、素形材センター、ダイヤモンド工業協会、電気加工学会、砥粒加工学会、日本金型工業会、日本機械学会、日本機械工具工業会、日本木型工業会、日本金属プレス工業協会、日本工作機械工業会、日本合成樹脂技術協会、日本塑性加工学会、日本ダイカスト協会、日本鑄造工学会、プラスチック成形加工学会

6. 問合先 **一般社団法人 型技術協会**

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町 6-79 アブソルート横濱馬車道ビル 201 号室

TEL 045-224-6081 Eメール info@jsdmt.jp

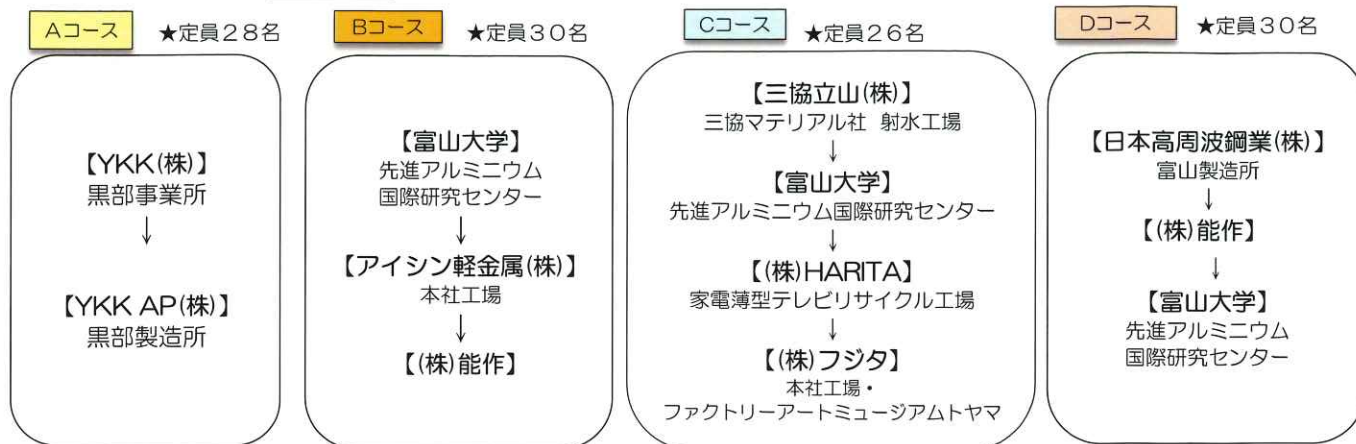
型技術ワークショップ2026 in とやま（第2日目）

工場見学会のご案内

■日 程 2026年11月27日（金）

※時間は各コース案内をご確認ください

■見学コース 4コース



※見学は事前登録者のみとなります。申込締切後の参加者変更は出来ません。

※同業者の方はお断りさせて頂く場合があります。

※各コースとも午前・午後を通しての申込みとなります。

※肌の露出を避けた服装（長袖・長ズボン）と先端の露出していない歩きやすい靴（平靴）で参加ください。

※写真撮影・録画はご遠慮ください。

※当日、機密誓約書等への記名が必要となる場合がございますので予めご承知置き下さい。

■集合場所 富山駅 北口



© Google Maps

注1. コースにより集合時刻や解散時刻が異なりますのでご注意ください

注2. 定刻になり次第、出発いたしますので遅れないようご集合ください

注3. 自家用車での来場は出来ませんのでご了承下さい

注4. 工場建屋間の徒歩移動や階段の乗降・エスカレーターでの移動等もございますので予めご了承の上お申込みください

注5. 見学ルート上の都合上、車椅子での参加は対応が難しい状況となりますので予めご了承の上お申込みください



【集合時間】 8:10

■見学スケジュール詳細

8:20 富山駅北口 出発
9:30~ YKK(株) 黒部事業所 見学
昼食: YKK(株)にて昼食弁当
~14:50 YKK AP(株) 黒部製造所 見学
15:00~15:45 魚の駅「生地(いくじ)」
17:00 富山駅 解散

※当日の交通事情により、スケジュールに変更が生じることがあります

YKK株式会社 黒部事業所

【見学先・工場紹介】

1955年、創業者・吉田忠雄は故郷に近い黒部に工場を構え、世界各国に事業を展開してきました。以降、YKKグループではここ黒部を「技術の総本山」と位置付け、素材から製造設備までを自社で開発する独自の「一貫生産体制」のもと、ファスニング事業とAP事業を展開しております。

緑豊かな「YKKセンターパーク」内の「丸屋根展示館」では、ファスニング事業における技術の発展をテーマに、創業から現在までのものづくりの歴史や品質へのこだわり、技術開発への挑戦を、一つのストーリーとしてまとめています。

弊社の理念と技術の軌跡を、どうぞごゆっくりご視察くださいませ

《黒部事業所》

■所在地
〒938-8601
富山県黒部市吉田200
■TEL
0765-54-8000



これが見られます！

▶ 丸屋根展示館ではファスナーの製造工程のほか、機械遺産に認定されたファスナー製造機（チェーンマシン）が見られます

YKK AP株式会社 黒部製造所

【見学先・工場紹介】

YKK AP黒部製造所は、建材事業発祥の地でアルミ素材製造の中核拠点となります。アルミ建材製造の要となる「溶解鋳造」・「押出」・「表面処理」ラインでは、巨大な設備から生み出される高品質な素材づくりを、その熱気とともにぜひご体感ください。

また、「YKK AP技術館」では、弊社のこれまでの歴史と技術の進化、そして未来に向けた新たな取り組みをご紹介します。窓や建材を通じた豊かな暮らしへの貢献を、どうぞごゆっくりご視察くださいませ。



〈押出しラインイメージ図〉

〈連続鋳造ライン
イメージ図〉

《黒部製造所》

■所在地
〒938-8611
富山県黒部市吉田200
■TEL
0765-54-8888



これが見られます！

▶ アルミ建材製造の上流工程である 溶解鋳造・押出・表面処理の工程を間近でご覧いただけます

■見学スケジュール詳細

9:20	富山駅北口 出発
10:30~11:30	富山大学 先進アルミニウム国際研究センター 見学
11:30~12:30	昼食：富山大学にて昼食弁当
13:00~14:15	アイシン軽金属(株) 本社工場 見学
15:00~16:00	(株)能作 見学
17:00~17:30	榎田酒造店
18:00	富山駅 解散

※当日の交通事情により、スケジュールに変更が生じることがあります

富山大学 先進アルミニウム国際研究センター

【見学先・工場紹介】

持続可能な社会の実現に向けてアルミニウムのリサイクル技術向上にむけた先進の研究開発設備と研究事例を紹介します。

- ・富山大学が進める「富山循環経済モデル創成に向けた産学官民共創拠点」活動紹介
- ・錫を用いた鋳造アルミニウムからのケイ素除去技術
- ・アルミニウム切削切り粉から溶解することなく押出加工のみで板材を再生する加工技術
- ・原子配列までを観察可能なS-TEMによるアルミニウム合金観察事例



アルミニウム溶解精錬システム



直間複動押し加工プレス機

《先進アルミニウム国際研究センター》

- 所在地
〒933-8588
富山県高岡市二上町180番地
(富山大学高岡キャンパス 軽金属材料共同研究棟内)

- TEL
0766-25-9270



これが見られます！

- ▶ 溶解・合金設計・押出加工などアルミニウム製造に関する一貫通貫した研究プロセスを見学いただけます

アイシン軽金属株式会社 本社工場

【見学先・工場紹介】

アルミ自動車部品の生産・開発を行う当社は、会社経営の基本を「品質至上」とし、お客様に信頼される確かな製品を提供し続けています。

自動車の安全対応・地球環境問題がキーワードとされる今、自動車部品のアルミ化により軽量化・低燃費化を実現しています。

- 自動車用アルミダイカスト製品および押出型材の製造・販売
- 福祉生活用スロープ等の押出製品の製造・販売



《本社工場》

- 所在地
〒934-8588
富山県射水市奈呉の江12番地の3

- TEL
0766-82-8800

- ホームページ
<https://www.aisin.com/jp/group/aisin-ak/jp/>



これが見られます！

- ▶ 自動車向けアルミ製品の専門メーカーとして活動しており、アルミダイカスト工程とアルミ押出工程の両方をご覧いただけます



【集合時間】 8:50

■見学スケジュール詳細

9:00	富山駅北口 出発
9:40~11:20	三協立山(株) 三協マテリアル社 射水工場 見学
11:50~12:50	富山大学 先進アルミニウム国際研究センター 見学
12:50~13:30	昼食: 富山大学にて昼食弁当
14:15~14:50	若鶴大正蔵
15:10~15:50	(株)HARITA 家電薄型テレビリサイクル工場 見学
16:00~17:15	(株)フジタ 本社工場・ファクトリーアートミュージアムトヤマ 見学
18:15	富山駅 解散

※当日の交通事情により、スケジュールに変更が生じることがあります

三協立山株式会社 三協マテリアル社 射水工場

【見学先・工場紹介】

三協立山は、1960年の創立から“アルミニウム”を主たる材料として日用品や建築用サッシなど、アルミ製品の製造・販売に注力してきたものづくりの企業です。「お客様・地域社会・社員の三者が協力し、共栄する」という協業の精神に基づいた経営理念のもと、事業を拡大・展開してきました。

射水工場は、業界トップクラスとなる15基の押出機と皮膜ラインを保有し、アルミニウム・マグネシウム型材の一貫生産を行っています。円柱状のアルミビレットが押出工程によりアルミ型材へ成形される様子や、その後のアルミ型材の表面処理工程をご覧ください。

サッシ製造の裏側を、ぜひ間近でご見学ください。



《三協マテリアル社 射水工場》

■所在地
〒934-0031
富山県射水市奈呉の江13-3

■TEL
0766-84-4131



これが見られます！

▶ 巨大プレス機が形を造り出す「押出加工の瞬間」、整然と進む「自動化された皮膜処理工程」をご覧ください

富山大学 先進アルミニウム国際研究センター

【見学先・工場紹介】

持続可能な社会の実現に向けてアルミニウムのリサイクル技術向上にむけた先進の研究開発設備と研究事例を紹介します。

- ・富山大学が進める「富山循環経済モデル創成に向けた産学官民共創拠点」活動紹介
- ・錫を用いた鋳造アルミニウムからのケイ素除去技術
- ・アルミニウム切削切り粉から溶解することなく押出加工のみで板材を再生する加工技術
- ・原子配列までを観察可能なS-TEMによるアルミニウム合金観察事例



アルミニウム溶解精錬システム



直間複動押し加工プレス機

《先進アルミニウム国際研究センター》

■所在地
〒933-8588
富山県高岡市二上町180番地
(富山大学高岡キャンパス 軽金属材料共同研究棟内)

■TEL
0766-25-9270



これが見られます！

▶ 溶解・合金設計・押出加工などアルミニウム製造に関する一貫通貫した研究プロセスを見学いただけます

株式会社HARITA 家電薄型テレビリサイクル工場

【見学先・工場紹介】

HARITAの「家電リサイクル工場」は、2001年の家電リサイクル法施行に伴い、国の認定（大臣認定）を受けた信頼性の高い再商品化工場です。テレビをはじめとする家電4品目から高度に資源を回収し、確実なリサイクルを担う重要な拠点の1つとなっています。

テレビの処理工程においては、家電リサイクル法および家電リサイクル協会より定められたガイドラインを厳守し、適正なオペレーションを実施しています。使用済みテレビは単に解体・破砕されるにとどまらず、高度な選別技術によって徹底的に資源化されます。これにより、回収された資源は単なる二次原料ではなく、天然資源の採掘を強力に抑制する「モノからつかった新しい概念の素材」へと生まれ変わり、社会へ再供給され循環していきます。

工場は環境マネジメントシステム「ISO14001」と労働安全衛生マネジメントシステム「ISO45001」の認証を取得した厳格な管理基準のもとで環境対策設備を導入し、日々の安全管理を徹底することで、持続可能な資源循環モデルを確立しています。また、従業員の作業環境の適正化により、持続可能な職場づくりを目指しています。

《家電薄型テレビリサイクル工場》

■所在地
〒939-0135
富山県高岡市福岡町本領1053番地1

■TEL
0766-64-3516



これが見られます！

▶ 当社のリサイクル技術で家電製品をそれぞれの資源に戻し社会に循環させていく行程をご覧ください

株式会社フジタ 本社工場・ファクトリーアートミュージアムトヤマ

【見学先・工場紹介】

株式会社フジタは、アルミ鋳造金型の設計・製作を中心に、治具製作や精密部品加工など、多品種少量生産を得意とするものづくり企業です。

「型にはまらない型屋」をコンセプトに、お客様ごとに異なる課題へ柔軟に対応し、加工技術だけでなく、デジタル技術や人材育成を組み合わせた新しいものづくりに挑戦しています。

近年は、「多能工」から一步進んだ「多脳工」という考え方のもと、一人ひとりが考え、提案し、価値を生み出す組織づくりを進めてきました。そして現在は、その考えを社外へと広げる「多脳交」を実践しています。その実践の場の一つが、工場内に開設した「FACTORY ART MUSEUM TOYAMA」です。

アートをきっかけに、これまで接点のなかった異業種の方々や地域の皆様、観光客など多様な人々が集い、交流する場を創出しています。異なる価値観やアイデアが交わることで、新たな気づきや発想が生まれ、それらを次のものづくりへとつなげる取り組みを進めています。

今回の工場見学では、「多脳交」の実践事例であるFACTORY ART MUSEUM TOYAMAをはじめ、デジタル技術を活用した現場改善や技術継承など、ものづくりの枠を超えた挑戦をご紹介します。



《本社工場》

■所在地
〒939-0131
富山県高岡市福岡町荒屋敷522

■TEL
0766-64-3710

《ファクトリーアートミュージアムトヤマ》

■所在地
〒939-0131
富山県高岡市福岡町荒屋敷525-9



これが見られます！

▶ 場づくり・人づくり・デジタル活用。技術を支える、型にはまらない取り組みをご紹介します

Dコース

【集合時間】 9:00

■見学スケジュール詳細

9:10 富山駅北口 出発
 10:00~11:30 日本高周波鋼業(株) 富山製造所 見学
 11:45~13:15 昼食：新湊きつときと市場
 14:00~15:00 (株)能作 見学
 15:30~16:30 富山大学 先進アルミニウム国際研究センター 見学
 17:30 富山駅 解散

※当日の交通事情により、スケジュールに変更が生じることがあります

日本高周波鋼業株式会社 富山製造所

【見学先・工場紹介】

日本高周波鋼業株式会社は、1950年の創立以来、特殊鋼の製造、販売に携わってきた特殊鋼メーカーです。2026年2月2日に神戸製鋼グループから大同特殊鋼グループに再編され、現在は大同特殊鋼100%子会社の体制の下、富山製造所にステンレス鋼、高合金鋼、工具鋼、軸受鋼の高級特殊鋼の生産活動を行なっています。

弊社が製造する特殊鋼は、自動車の足回り、内外装部品の成型に用いられる金型アルミ押出に用いられる金型、半導体製造装置の部品に使用されるステンレス鋼医療用カテーテルに使用される極細径ステンレス鋼線の素材など、多岐に渡り皆様にご使用戴いております。



《富山製造所》

■所在地
 〒934-8502
 富山県射水市八幡町3-10-15

■TEL
 0766-84-3181



これが見られます！

▶ 油圧プレスを使用した熱間鍛造工程、圧延用ビレットを製造する分塊圧延工程をご案内します

富山大学 先進アルミニウム国際研究センター

【見学先・工場紹介】

持続可能な社会の実現に向けてアルミニウムのリサイクル技術向上にむけた先進の研究開発設備と研究事例を紹介します。

- ・富山大学が進める「富山循環経済モデル創成に向けた産学官民共創拠点」活動紹介
- ・錫を用いた鋳造アルミニウムからのケイ素除去技術
- ・アルミニウム切削切り粉から溶解することなく押出加工のみで板材を再生する加工技術
- ・原子配列までを観察可能なS-TEMによるアルミニウム合金観察事例



アルミニウム溶解精錬システム



直間複動押し加工プレス機

《先進アルミニウム国際研究センター》

■所在地
 〒933-8588
 富山県高岡市二上町180番地
 (富山大学高岡キャンパス 軽金属材料共同研究棟内)

■TEL
 0766-25-9270



これが見られます！

▶ 溶解・合金設計・押出加工などアルミニウム製造に関する一貫通貫した研究プロセスを見学いただけます

株式会社能作

高岡のまちで400年にわたり育まれてきた鑄物づくりの歴史、能作で受け継がれてきた職人技やものづくりへの想いについて、ガイドがご案内・ご説明いたします。

鑄物が作り上げられる現場のにおいや温度など、ものづくりの空気感を肌で感じながら、伝統を受け継ぐ職人たちの姿を直にご覧いただけます。



出展：能作コーポレートサイト

魚の駅 生地

黒部地区は急深な海底の地形からごく近い沿岸で様々な漁業を周年操業できることから古くから漁業が栄えてきました。ところが工場の進出などから漁業者の高齢化と後継者不足は深刻な問題になっています。さらに近年の消費流通の主導権を握っている量販店の台頭は、「少量多品種」である黒部地区漁業の発展を阻んできました。

なぜなら、量販店は「安定供給」と「規格化産品」です。自然の天候と格闘し、寄せる波に立ち向かう漁業に安定供給などありえません。勿論、流通業者の都合だけに合わせられる漁業などあろうはずもないのです。結局、量販店は流通させやすい魚以外は目もくれません。私達漁業者は美味しい魚がいっぱい獲れるにもかかわらず、長年、商人から「こんなもの売れる訳がない」と聞かされ、捨て値で買い取られるのを指を加えてみているだけでした。又、獲ってきた魚を止むなく廃棄したりしてきました。

そこで、私達漁業者がみずから魚や漁業の情報を発信し、「もっともっと魚を食べてもらいたい！」という一念で直販施設の建設を検討し、平成16年10月に魚の駅「生地」をオープンしました。

出展：魚の駅 生地コーポレートサイト

榊田酒造店

榊田酒造店が位置する富山市の岩瀬という地名は、古くは延喜式に駅として、そして室町時代には「廻船式目」3津7湊の一つに「越中岩瀬湊」として登場します。明治初期の大火の後に再建された北前船の廻船問屋街は第二次大戦の戦火を逃れ、今も古い街並みが美しく残ります。そして現在岩瀬の歴史的な建物を活用し、地域の魅力を発信するために多くのレストランやクラフトマンたちが切磋琢磨する町となっています。その中で榊田酒造店もまた地域と共に発展し世界の頂点を目指して精進しています。



出展：榊田酒造店コーポレートサイト

若鶴大正蔵

かつて若鶴酒造では、越後流と南部流、ふたつの地域の杜氏がそれぞれ蔵を持って技を競い合い、より良い酒造りをめざした時期がありました。

双方の技術を受け継ぎ、それぞれの長所を活かす技を身につけたのが現杜氏です。南部流の濃醇さと越後流の淡麗さがこの上ないバランスでとけあった、若鶴酒造独自の味わいをお楽しみください。



大正蔵ショップ

出展：若鶴大正蔵コーポレートサイト